

「絶対2人当選を」

自民県連大会 渡辺新会長が就任

ちば
参院選
2019

自民党県連は8日、千葉市内で定期大会を開き、県連

現職を絶対当選させる」と強調し、必勝態勢の構築を呼び掛けた。

力を挙げたい」と述べた上で比例区の公明候補者との選挙協力を確認。森田健作知事もエールを送った。

石井氏、豊田氏がともに

決意表明し、駆け付けた党本部の秋生田光一幹事長代行は党公約に掲げた早期の憲法改正などを進めるため

渡辺氏の後任の県連選挙対策委員長に藺浦健太郎首相補佐官(47)が就任。河上茂県連幹事長(70)は留任した。4月に失言問題で五輪相を辞任、6年務めた県連会長職も退いた桜田氏は「令和の新时代的幕開けとともに県連も新しい体制を迎えた」と受け止めた。

会長を桜田義孝前五輪相(69)が就任。河上茂県連幹事長(70)は留任した。4月に失言問題で五輪相を辞任、6年務めた県連会長職も退いた桜田氏は「令和の新时代的幕開けとともに県連も新しい体制を迎えた」と受け止めた。

「千葉は二つに分かれて競い合い、大切な2議席を守る底力を見せて」と期待。来賓の富田茂之・公明党県本部代表は「(自民の)新体制でも2人がワンツーフィニッシュでできるよう全

7月4日公示が有力視される参院選の千葉選挙区(改選数3)で、石井準一氏(61)と豊田俊郎氏(66)の1期2人の党

「千葉は二つに分かれて競い合い、大切な2議席を守る底力を見せて」と期待。来賓の富田茂之・公明党県本部代表は「(自民の)新体制でも2人がワンツーフィニッシュでできるよう全



県連の新会長に就任し、参院選勝利を誓う渡辺復興相(左)と、留任の河上幹事長(中央)。右は選対委員長に就いた藺浦氏=8日、千葉市美浜区